



# 名古屋大須ロータリークラブ

## THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-OSU WEEKLY REPORT

<本年度クラブ会長方針>

No. 1030



### Ever Onward ~いつも前を向いて~

承認 1985年2月12日 例会日 木曜日 12:30 例会場 名古屋東急ホテル  
 会長 小澤 幸男 事務局 名古屋市中区栄4丁目6番5号 丸越ビル6F  
 幹事 太田 裕 電話 (052)251-0181 FAX (052)251-0337 〒460-0008  
 URL http://www.nagoya-osu.org E-mail office@nagoya-osu.org

2008-2009年度 R.I. 会長

李東建 Dong Kurn Lee

Rotary International President

#### 第1212回例会

##### 雑誌月間

平成21年4月23日(木)

##### 地区協議会報告

於 名古屋東急ホテル

出席計算数 55名中47名出席

出席率 85・45%

前々回出席率 96・49%

##### 「ロータリーソング」

「それでこそロータリー」

指揮者 鬼頭 茂成

ピアノ伴奏 冨板 玲子

##### ゲスト

元R財団奨学生

澤屋奈津子さん

(写真中央)

奈津子さんのお母様

澤屋 高子さん

##### 「ピジター」

名古屋みなとR.C

深谷 友尋さん

##### 「ニコボックス」

ロータリー財団奨学生

澤屋奈津子さんをお迎えして、本日例会に参加させていただきます。

澤屋さんようこそ

小澤 幸男

深谷 友尋さん

太田 裕

ロータリー財団奨学生澤屋奈津子さんをお迎えして。

深谷委員長をお迎えして、横井 衛

天気にもぐまれ楽しいハイキングでした。尾上隊長ありがとうございました。

尾上さん、前田さん、ありがとござ

いました。

近藤宏一郎

前田 隆久

近藤宏一郎



お久しぶりで申し訳ありません。

久しぶりです。小笠原和俊

先週日本ナランバーワン廣野ゴルフクラブでプレーをしました。大感激！大満足！

荻葉 賢二

中国洛陽の切手展に行つて来ました。

大原 敏正

小学校のPTA会長を拝命しました。

渡辺 観永

誕生日です。一歩前に進むと又、新しい風景が広がります。楽しみです。

照井 栞

今日は良い事が有りそうです！

鈴木 基仁

今月は結婚記念月でした。遅ればせながら。

木村 光徳

新緑がさわやかです。気持ちが良いです。

春日井和良

「地区協議会に参加して」

次年度社会奉仕委員長 前田 隆久

昨日、地区協議会に参加して

きました。私が

参加した第4分科会は、社会奉仕、R.C、環境保全の各委員

会合同の分科会で、西脇次期社会奉仕委員長をリーダーに、次期地区研修リーダーの、斎藤バスターガバナーをアドバイザーとしてお迎えし、有意義な研修が行われました。

途中で、大澤次年度ガバナーが、ご挨拶され、「ロータリアンとして、世界のためにいいことをしよう。この精神

にのつとつて実のある社会奉仕を行っていたらいい。また、若い人、若い力を受け入れていく開かれたロータリーを目指していこう。」という言葉が印象的でした。

会議は、次年度R.I.テーマに沿っての一般的な社会奉仕活動の意義と、各リーダーの所属クラブで行われている社会奉仕活動の具体例の紹介、R.C.活動、環境保全活動の具体例の紹介等を中心に進められ、最後に地区補助金についての説明と、分科会全体に対する質疑応答で、終了しました。

今回参加して、2つの発見がありました。まず、多くの事例を聞いて、思っていたよりも各クラブがその地域、実情にあつた活動を行っているということです。派手さはなくても、それぞれが地道に奉仕活動を行っているということを実感いたしました。

2つ目に、斎藤バスターガバナーの問題提起です。社会奉仕は、4大奉仕の中でも最もわかりやすく、ロータリー活動そのものだと思われがちですが、社会奉仕という概念一つをとつても、ロータリーの歴史の中で何度も定義づけられ今に至っているということがわかりました。これに関しては、決議を読みなおして、学んでみたいと思つています。

とにかく、今さらですが、結構発見もあつた、100分でした。

「第5分科会国際奉仕部門」

次年度国際奉仕委員長 高木 政義

「夢」それを託すための国際奉仕とするために」をテーマに、ロータリーの綱領の話がスタートとなりました。

領第4に国際間の理解と親善と平和を推進することが掲げられています。国際奉仕の具体的な事業として、「青少年交換」と「世界社会奉仕(WCS)」があります。青少年交換は1929年が最初のことです。地区では1969年の名古屋R.C.からです。当クラブの青少年交換の実績は地区内で2位となっています。世界社会奉仕の地区内クラブの当年度活動状況が示されましたが、当クラブは休止の13クラブの一つでした。現在どのような援助が求められているかについては、「Project「Z」」で知ることが出来ます。当クラブとしては今後の対応が課題です。他にロータリー財団等との連携などが検討されています。青少年育成プログラム全般に対する危機管理の体制の説明がありました。

「地区協議会報告」

次年度クラブ奉仕委員会 太田 裕

地区協議会の第2分科会には、会長エレクトの岩崎さん、副幹事の松本哲朗さん、S.A.Aの大原さん、広報委員長の吉田明夫さん、R情報委員長の尾上さんと一緒に参加しました。第2分科会は午前の本会議と同じセンチュリーホールでした。

センチュリーホールは、千人ほど入れる大きな会場で本会議では適当でしたが、分科会では登録者四百六十人ほどで実際の参加者はもう少し減ってガラガラの状態、その後3時から開催さ





れた会員増強セミナーでも空席が目立ちました。

第2分科会のテーマは、ロータリーの活性化、サブテーマはロータリーをよく理解しようで、それを踏まえて、魅力ある例会をするのがクラブ奉仕の使命だぞとす。

CLPについて、活性化のためには組織を変えるのではなく意識を変えることだとの話でした。会員増強については、2760地区で五千人の会員数のところで三百人入会しても、四百人退会するのでは意味が無いので会員の維持に努めなさいとの話でした。ET委員長として、大須ロータリーの杉浦令淑さんが、連絡方法としてETをもっと活用してください、とのことの方バナー月信もET化しますとのこと。

大澤カバナーは、海外に出ないと、如てガエルになってしまいますよと言っていました。

### 帰国報告

#### 元R財団奨学生

#### 澤屋 奈津子

2006年の夏の終わり、名古屋大須ロータリークラブよりマルチイヤー(2年)の国際親善奨学生としてイタリアのボローニャへ送り出していただきました。イタリアでの受け入れクラブはボローニャ・エスト(東)クラブです。ボローニャ大学の0〜3歳を対象とした幼児教育の学科の2年生に編入し留学生生活



をスタートさせることができました。日本の大学での専門と分野が違つたため、留学の1年目は1年生と2年生の科目をほぼ履修しなければならず大変でしたが、幼児教育で有名なレジジョ・エミリアという町で教育実習もでき、無事に2年生まで終えることが出来ました。1年目のロータリーとの関わりはボローニャ・エストの定例会やロータリーアクトの集まりに加え、ボローニャの他のクラブの例会にも何度か参加することが出来ました。2070地区のガバナーからのお招きによりRYLAへも参加させていただきました。また、日本から出張でいらつした方の中に山梨のロータリアンの方がいらつしたり、一緒にレジジョ・エミリアのロータリークラブの例会にも参加することが出来ました。文化活動に関しては、ニッポニ方という日本や日本文化についてさまざまな催しを行っている団体のお手伝いで子どもに折り紙を教えに行つたり、日本にちなんだ舞台への参加などがありました。



施設でボランティアとして働かせてもらいました。ロータリーとの関わりは、ボローニャの枠を越え、アフリカのこの3カ国にも広がり、それぞれの場所でも度々なく例に参加したりスピーチをする機会がありました。日本でのコーディネーターである吉田さんご夫妻が2007年4月にボローニャに来てくださり、ボローニャでのコーディネーターのフアビオとお会いしていただくことが出来ました。10月には岡村さまがボローニャへのご出張でいらして下さりお会いすることが出来ました。1年目同様ニッポニ方のおかげで日本の文化に触れる機会も多くなりました。

奨学生の期間の終了時、卒業論文の作成のためロータリー財団へ滞在期間の延長を申請し、2008年の夏以降は卒論に取り組み、何とか今年の2月に提出、3月に卒論の口頭質問を終え、無事に卒業することが出来ました。驚くことに、教授たちが雑誌の記事にすることに興味を持ってくださり、これからアフリカの3カ国で見てきた子どもたちについて3つ、記事を書くことになりました。ボローニャ大学の教育学部より出版されている雑誌に載せてくださるみたいです。

実習で行くことのできたアフリカの3カ国それぞれに状況は違いますが、それぞれにさまざまな支えを必要としています。現地やイタリア、日本のロータリークラブが何かの形で未来の大人たち、今の、これからの子どもたち

の成長を支えて行けたらと願い、各実習の後に各国のロータリー宛にレポートを書いたり、ロータリーの方たちからの質問に答えたりしてきました。この4月にはセネガルのダカールで私のホストファミリーをして下さったご家族がボローニャに来てくださいます。ボローニャ・ノルド(北)ロータリークラブの前会長、アレックスサンドロはセネガルからご家族と私を定例会に招いてくださり、ボローニャ・ダカール(名古屋を通して)と題して講演、ボローニャ・ノルドだけでなく、ボローニャ・エスト(東、私の受け入れクラブ)やオウエスト(西)の会長さんや会員の方々がいらして下さいます。ダカール・ホリゾンロータリークラブとボローニャ・ノルドロータリークラブは、ダカール郊外にある孤児院の支援について検討を始めてくださり、そこにボローニャ・エストロータリークラブも参加を申し出てくださいます。日本からはポリオプラスの成田さまより実習先の国々でのポリオのワクチン投与について状況についてお問い合わせを受けました。



4月23日のスピーチの席ではロータリー財団の実行委員長の深谷さまからも、この3カ国のロータリークラブと日本のクラブとの協力の可能性について

でもお伺いすることが出来ました。スピーチの際にお伝えしたこと、お伝えしたかったことはまだまだたくさんありますが、なんとと言っても、奨学生に選んでくださったこと、そして支えてくださっていることに対して、心からの感謝の気持ちをお伝えしたいと思えます。どうもありがとうございます。

1つだけ、肝心なことでお話しするのを忘れてしまったのですが、以前大須のクラブの方たちよりいただいたお金があります。ボローニャ・エストでスピーチをした際にはロータリアンやロータリーアクトの方々がお金を集めてくださいました。両方足して約600ユーロあります。出逢つた子どもたちに一番してあげたいことは、ブラザビルの捨て子の施設の子どもの世話をする大人の数を増やしてあげたいのですが、安定して長期に人を雇うには十分な金額でないため、次に何のために使いたいかを考えた時、物質的に貧しいジニアブエの孤児院の子どもたちのために使いたいと思いました。飛行機代が貯まり次第出来るだけ早くジニアブエに行こうと思っています。またその際はご報告いたします。本当にどうもありがとうございました!!!

5月14日(木) 例会の案内  
例会変更 5月16日(土)  
春の家族会  
〜新緑の京都 智徳院の庭を観る〜  
\*芸文センター 南側集合  
午前8時 バス出発

#### 広報委員会

杉本 英夫・木村 光徳  
加藤巴千彦・佐々木 功